

退任のごあいさつ

家政学部の発展的解消を機に同学部の研究をひきつぐため、昭和51年に生活科学研究部が発足しました。以来16年間、部長職を勤めさせて頂きました。その間、所長水島先生の御指導のもとに諸先生方、助手の方々の御協力を得ながら楽しく仕事が出来ましたことを感謝しております。昭和61年には生活科学研究所となり、本年度よりはその機構もかわり研究部、研修部の二部に分けられました。そして各学部より運営委員が出て運営委員会が開かれるなど全学的組織として活動が始められました。懸案の共同研究も緒につき、研究員、客員研究員も約20名となり、それぞれの研究を進めておられることはよろこばしいことです。

生活科学は人間の生活に重要な役割をもつものであり、その研究を通して生活の向上を図ることが目標とされております。この目標に向って生活科学研究所がますます発展することを期待して退任の御挨拶と致します。

1993年3月

泉 敬子